

# 統合報告書2021



**STANLEY**  
スタンレー電気株式会社  
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

## STANLEY GROUP VISION

## 光に勝つ

## スタンレースピリット

光は、人間に多くの恵みをもたらす無限の可能性をもっています。

その光に勝負を挑み、そして勝つことなどは不可能でしょう。

まさに恐れを知らぬ言葉なのですが、私たちの未来を切り拓いていこうとする時、

最も大事なことは、実現不可能なほど高い目標でも全員で果敢に挑もうとする志、気概です。

徹底したこだわりと言ってもよいでしょう。

「論理的にそれは不可能だよ」という前に、まずは挑戦してみる。その姿勢なしには、

これからの激変する社会で生き残っていくことはできません。

この「光に勝つ」の気概を、これから新世紀を勝ち抜くための

スタンレーグループ全員の精神とします。

## スタンレーの経営理念

## 光の価値の限りなき追求

## ものづくりを究める経営革新

## 真に支える人々の幸福の実現



## CONTENTS

Introduction	Business Overview
STANLEY GROUP VISION	事業セグメント別概況
At a Glance	19
社長メッセージ	自動車機器事業
7	20
STANLEY's Value Creation	コンポーネンツ事業
価値創造のあゆみ	21
スタンレーの強み	電子応用製品事業
価値創造プロセス	22
価値創造への取り組み	ガバナンス
11	Information
Sustainability	11年間の主要財務データ
価値創造のあゆみ	23
スタンレーの強み	連結財務諸表
価値創造プロセス	25
価値創造への取り組み	グローバルネットワーク
13	株式の状況
15	会社概要
17	33

## 編集方針

当報告書は、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまに、中長期的な企業価値向上に向けた取り組みを理解していただくために発行しています。

編集にあたっては、国際統合報告評議会 (IIRC) が公表した「国際統合報告フレームワーク」、及び経済産業省が策定した「価値協創のための統合的開示・対話ガイド」をはじめとする、各種ガイドラインを参考にしています。企業価値向上に関連する情報を中心に、スタンレーグループの基本的価値観 (スタンレーグループビジョン) や創業100年のあゆみ、サステナビリティへの取り組み (環境・社会・ガバナンスなどの非財務情報)、財務情報などを紹介しています。

なお、当報告書に掲載しきれない情報については、当社WEBサイトに記載していますので、あわせてご参照ください。

当社WEBサイト <https://www.stanley.co.jp/>

対象期間 2020年度 (2020年4月1日～2021年3月31日)

※一部、それ以外の期間の活動についても記載しています。

対象範囲 スタンレー電気株式会社及びグループ会社を含めた、スタンレーグループ全体を対象としています。

## 参考にしたガイドライン

- IIRC 「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイド」
- 日本規格協会編「ISO26000 : 2010 社会的責任に関する手引」
- 環境省「環境報告ガイドライン (2018年版)」
- GRI (Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポート・ガイドライン・スタンダード」

## 発行情報

2021年10月発行

## 注意事項

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは、将来に関する見通し、及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素等の要因が含まれているため、当報告書に記載している予測や将来に関する記述と大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

## STANLEY GROUP VISION

## 光の5つの価値



光を創る

## CREATING

光で感知・認識する

## RECOGNIZING

光で情報を自在に操る

## INFORMING

光のエネルギーを活かす

## ENERGIZING

光で場を演出する

## EXPRESSING

私たちちは、世界中のスタンレーブループで共有する基本的な価値観として、

スタンレーブループビジョンを掲げています。

私たちちは、このビジョンのもとで「光の価値」と「ものづくり」を徹底的に究め、

真に必要とされる価値を創造することで、広く社会に貢献します。

## スタンレーブループビジョン

★  
スタンレースピリット

## 光に勝つ

私たちちは、“光に勝つ”的概念を持ち、素晴らしい未来を切り拓きます。

★  
経営理念

## 光の価値の限りなき追求

光の無限の可能性を究め、その価値の提供によってひろく社会に貢献します。

## ものづくりを究める経営革新

“ものづくり”を事業の根幹とし、高付加価値・高品質を生むしきみを実現します。

## 真に支える人々の幸福の実現

スタンレーを真に支えてくれる人々を大切にし、その幸福の実現に努めます。

★  
光の5つの価値

光による5つの価値の探究によって、社会的価値を創造します。

CREATING 光を創る

RECOGNIZING 光で感知・認識する

INFORMING 光で情報を自在に操る

ENERGIZING 光のエネルギーを活かす

EXPRESSING 光で場を演出する

★  
行動指針

## CHALLENGE 挑戦

常に高い理想を求め、果敢に挑戦している。

## INNOVATE 発想

自由な発想と高い見識で、価値を創りだしている。

## COLLABORATE 共創

知恵を共有し活用することで、価値を高めている。

## HUMANIZE 慈愛

自然と人間を慈しみ、豊かな感性を育んでいる。

## GLOBALIZE 国際

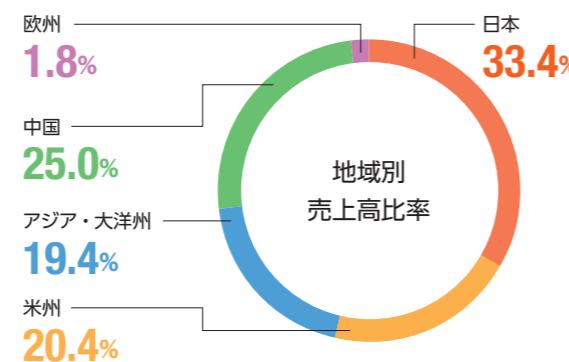
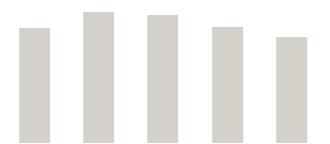
世界の多様な文化を尊重し、その理解に努めている。

# At a Glance

## 財務

(2021年3月31日現在)

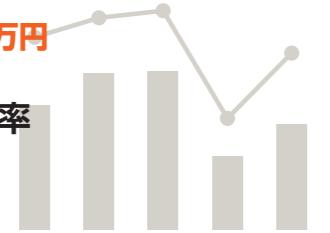
売上高  
**359,710百万円**



### 営業利益

**35,903百万円**

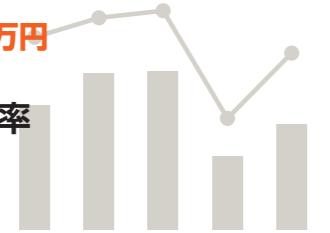
売上高営業利益率  
**10.0%**



### 親会社株主に帰属する当期純利益

**22,918百万円**

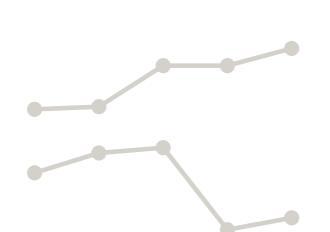
1株当たり当期純利益金額  
**142.39円**



### ROE

**6.0%**

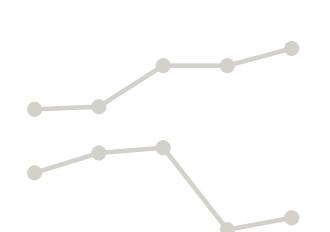
自己資本比率  
**73.8%**



### 1株当たり配当額

**45円**

連結配当性向  
**31.6%**



### 設備投資額

**29,141百万円**



### 研究開発費

**15,817百万円**



### フリーキャッシュ・フロー

**4,992百万円**



## 非財務

(2021年3月31日現在)

グループネットワーク  
**世界17ヶ国**

連結子会社  
**37社**

持分法適用関連会社  
**3社**



従業員数  
単体 **3,670名** 連結 **17,589名**

女性従業員比率  
**14.8% (単体)**

国内／海外生産拠点  
国内 **12拠点**

海外 **17拠点**



生産革新活動による合理化効果  
**82.5億円 (連結)**



### 平均年齢

**40.3歳 (単体)**



### 平均勤続年数

**15.8年 (単体)**



### 自動車ヘッドライトのLED比率

**71% (連結)**



### 環境配慮製品の割合

**68% (単体)**

#### 製品別内訳

製品	割合
ヘッドライト	40%
リアランプ	14%
コンポーネンツ	13%
電子応用製品	1%



### CO<sub>2</sub>排出量 (付加価値額原単位)

国内 **70.5t-CO<sub>2</sub>/億円**



海外 **298.5t-CO<sub>2</sub>/億円**

## 社長メッセージ

# 持続可能な社会 そして安全・安心な社会の実現を目指して

代表取締役社長

平野 隆典



### 新社長略歴

1980年3月 スタンレー電気株式会社入社  
2002年4月 事業管理室 部門長  
2005年6月 執行役員  
ディスプレイデバイス事業部長  
2008年6月 取締役就任  
2013年6月 購買担当  
ロジスティクス担当  
コンプライアンス・企業倫理担当  
日本関係会社事業担当  
2014年6月 常務取締役就任  
2015年6月 環境担当  
2017年6月 専務取締役就任  
2019年6月 取締役副社長就任  
2021年1月 代表取締役社長就任(現)

はじめに、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）により、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を捧げますとともに、感染症拡大の影響を受けられたすべての方々に心よりお見舞いを申しあげます。また、感染症再拡大が懸念され、先行きが予断を許さない状況の中で、治療や感染症予防に尽力されておられる方々に感謝と尊敬の意を表します。

### 創業100周年を迎えて

スタンレー電気は2020年12月をもちまして、創業100周年を迎えました。これだけ長く事業を継続できたのは先人たちの弛まぬ努力もありますが、それ以上に、すべてのステークホルダーの皆さまのご支持・ご支援の賜物だと認識しております。この場をお借りして、厚く御礼申しあげます。

当社は1920年12月に自動車用電球を主体とした特殊電球を扱う個人商店「北野商会」として創業しました。その後、1932年に目黒工場を開設し、1933年に「スタンレー電気株式会社」へと改名、本格的にメーカーとしての歩みを開始しました。当時の取り扱い製品からしますと「スタンレー電球株式会社」としても不思議ではなかったのですが、「電気」としました。その後、その名のとおり電球にとどまらず「ホーロー引き抵抗器」や「セレン整流体」にはじまり、家電製品や半導体製品、医療機器まで幅広い製品を製造・販売し、お客様のビジネスの発展と躍進を支えてまいりました。今となりますと、社名を「電気」とした創業者の先見の明を感じます。そして2000年4月に、未来に向けて私たちが進むべき方向性を示した「スタンレーグループビジョン」を制定し、「光の価値をものづくりによって提供していく」という当社グループのコアコンピタンスを明確にして、現在に至っております。

### ガバナンスの強化を意図した新経営体制

創業100周年を迎えて間もない2021年1月、前社長である北野隆典が急逝しました。1999年から21年間の長きにわたり、代表取締役社長として当社グループを牽引したその功績は言葉に尽くしがたく、当社が失ったものは計り知れませんでした。今後どうなるのかと、ステークホルダーの皆さまも心配くださったことと思います。

その悲しみを乗り越えて再出発した新たな経営体制では、代表取締役を2名として経営の安定化とリスクの分散を図りました。また、知識・経験豊かな社外役員の視点・意見を活かした経営を進めるため、これまで代表取締役の諮問委員会としていた「ガバナンス委員会」を、取締役会の諮問委員会としました。さらに執行役員を増強して、よりスピーディーな判断のもとでの事業執行を可能にするなど、これまで以上に企業価値の向上を目指した新たな体制を構築しました。

### スタンレーグループ共通の価値観

未来に向けて私たちが進むべき方向性を示した「スタンレーグループビジョン」は、当社グループの共通の価値観であり、企業としての基本理念・社会における存在意義・永続的な使命を明確に掲げたもので、新体制においても不变です。

その根幹であり、スタンレーグループ全員の精神としているのが、スタンレースピリット「光に勝つ」です。「光に勝つ」

## 社長メッセージ

とは、実現不可能なほど高い目標でも、全員で果敢に挑もうとする志、気概を表しています。

今まさに、コロナ禍を経てニューノーマル（新常態）への移行が進んでいます。激変していく社会の中で、どんな困難なことであっても“まずは挑戦してみる”こと。その姿勢が、未来を切り拓いていくために最も大事なことだと考えています。

また、経営理念として「光の価値の限りなき追求」「ものづくりを究める経営革新」「真に支える人々の幸福の実現」を掲げています。光の持つ無限の可能性の中で、私たちの生活や社会において利用できているのは、ほんの一部分に過ぎません。「光の持つ無限の可能性を追求するとともに、『ものづくり』を究めることで、光の価値を高付加価値と高品質な製品として提供して、ひろく社会に貢献する」これが、スタンレーブループの社会における存在意義です。この理念に共感し、支えてくださるすべてのステークホルダーの皆さまと共に、持続可能な社会の実現に取り組んでいきたいと考えています。

## 長期経営目標と中期経営計画

スタンレーブループビジョンに向かって、私たちはどう歩むべきか、10年間の指針とともに「経営」、「事業」、「文化・風土」の3つの視点からそれぞれ目標を定めたものが、長期経営目標です。ビジョンの制定から20年を経て、3回目の長期経営目標となる「第3長期経営目標」への取り組みを2020年度から開始しております。第3長期経営目標は、50年後の社会の変化を予測したうえで、今後10年に取り組むべき課題などから検討を行い、「安全・安心を実現し、社会に貢献する」をその指針としました。よって、第3長期経営目標は「スタンレーブループのSDGs目標」とも言えます。

また第3長期経営目標を達成するための向こう3ヶ年の経営計画を、「第VII期中期3ヶ年経営計画」として策定しています。そこでは、これまでの延長線上では生き残れないとの認識に立ち、生き残りをかけた事業変革と新事業創出を目指して「ランプシステムメーカーへの変革」と「電子事業の再興と拡大」の2つを大きなテーマとしました。

第VII期中期3ヶ年経営計画の初年度であった2020年度は、感染症の世界的大流行により、東京オリンピック・パラリンピックが延期となり、3密を避けるために在宅勤務やオンライン会議が普及するなど、働き方も大きく変化した1年でした。当社グループにおきましても、社員と家族の健康・安全を守ることを最優先に考え、そのうえで「いかに事業を継続していくか」という視点からグローバルで情報を共有し、あらゆる手段を用いて事業活動への影響を最小限に抑えることに注力しました。

そのように厳しい状況が続く中で、当社グループは、ランプシステムメーカーへの変革のための環境整備を着々と進めてまいりました。まずは、実車検証ができるライトトンネルを備えた秦野テクニカルセンターを設立し、スピードィーな開発体制を整えました。次に、三菱電機株式会社と「車載用ランプシステム事業に関する業務提携」を締結しました。これによって、当社の光学技術や車載用ランプ製造技術と、三菱電機株式会社の先進制御システム技術とを融合させることができ、従来よりも高い安全性と機能性を有する「車載用ランプシステム」の実現に向けて、さらに前進することができました。今後、世界初・世界一のランプシステム製品が次々と生み出されることをご期待いただきたいと思います。

一方「電子事業の再興と拡大」に向けた施策としては、紫外線製品を総称する新たなブランド「ALNUV」を立ち上げました。今後、当ブランド製品を拡販することで、除菌市場での当社のポジションを確立し、他社との差別化を図ってまいります。また、深紫外・近紫外・ハイパワー赤外LEDなどの、将来が期待されるデバイスの生産を担う最先端の工場を、山形県鶴岡市に建設するなど、新たな打ち手を確実に実行しております。

## 『安全・安心を実現し、社会に貢献する』を実現するための重要テーマ

### ① 夜間の交通死亡事故ゼロへの貢献

夜間の交通死亡事故ゼロを目指し、安全で安心なモビリティ社会の実現に貢献してまいります。そのために、人間工学に基づいた全天候対応配光制御やADB（配光可変型ヘッドライト）をさらに進化させた視線連動ランプシステムの開発など、ドライバーが夜間でも安心して、安全に運転するための研究開発を進めてまいります。

### ② 人々の安全・安心を実現する光の価値の提供

安全・安心を実現する光の価値の提供のひとつとして、深紫外線光源とその応用製品の開発を進めてまいります。直近では、新型コロナウイルスを含むさまざまな細菌やウイルスを不活化させる光源をはじめ、医療現場、移動時の車内、水除菌等のシーンで利用が期待される製品を開発して展開してまいります。今後も私たちが日々触れるもの、生活する空間、口にする水など、リスクのあるあらゆる対象物への除菌を光によって実現することで、世界中の人々の衛生リスクを低減し、誰もが安心して暮らせる毎日の実現を目指してまいります。

## ステークホルダーの皆さまへ

当社グループは、「安全・安心を実現し、社会に貢献する」に向かって、新たな歩みを始めました。その行く手には、CASEに代表される自動車業界の大変革、或いはカーボンニュートラルをはじめとするさまざまな気候変動リスクへの対処など、これまでにない大きな課題が立ち塞がっております。また足元では、未だ感染症の流行が止まず、半導体不足や原材料高騰などの影響もあり、先行き不透明な状況です。

しかし、私たちは負けません。さまざまな社会課題を解決するため、まさに「光に勝つ」の気概をもって、挑戦し続けてまいります。そして皆さまと共に持続的な成長を遂げて、持続可能な社会を実現していきたいと考えております。今後もより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

### 前代表取締役社長の逝去について



代表取締役社長であった北野隆典が2021年1月26日に逝去いたしました。享年64でした。生前のご厚誼に深謝し、謹んでご報告申しあげます。

北野隆典は1983年に監査役として当社に入社し、1985年より取締役として当社の経営を担い、1999年から21年の長きにわたり代表取締役社長として当社を牽引いたしました。

その間、新たな人事制度や独自の生産方式を導入するなどさまざまな施策を実行するとともに、「光の価値の追求」と「ものづくり」によってグローバルにその価値を提供していく体制を構築して当社の発展を導きました。

当社は新たに代表取締役社長に就任した平塚豊と共に、社員一丸となって邁進してまいります。

### 略歴

1983年6月 スタンレー電気株式会社入社、  
監査役(常勤)就任  
1985年6月 取締役就任  
1988年6月 常務取締役就任、経営支援事業部長

1990年6月 代表取締役専務就任  
1994年6月 代表取締役副社長就任  
1996年6月 電子機器事業本部長  
1999年6月 代表取締役社長就任

# 価値創造のあゆみ

スタンレーブループの歴史は、その前身となる北野商会が誕生した1920年にまで遡ります。当時、まだ珍しかった自動車用電球を手掛け、オプトエレクトロニクスや自動車機器製品へと事業領域を拡大してきました。スタンレーブループが歩んできた100年は、光が持つさまざまな特性を究め続けた歴史であり、多くの価値のある製品として結実しています。

## 1920~1940年代 創業から成長へ

### 創業者の思い

「おれは早く日本一になりたい。これからは電気の時代だ」。創業者・北野隆春は、自動車電球を主体とした特殊電球で自分の店を開こうと決心しました。いわく、「志を立てんには大にして高きを欲す。小にして低きを欲せず。小にして低ければ即ち小成に安んじ、大にして高ければ即ち大成を期す。物はすべて上を望んで中に至り、中を望んで下に至るものなり。故に常に天下第一等の人たらん事を心がくくし」。この覚悟、この精神こそ成功の秘訣だ、と。



創業当時の北野隆春（1920年）

沿革

1920年12月

北野商会を創立、自動車用電球の製造ならびに販売開始

1929年 5月

日本最初のパーマネント・コンタクト式クリスマス電球発売

1933年 5月

資本金50万円で株式会社に改組し、スタンレー電気株式会社に商号変更

1940年 4月

セレン整流体の製造開始

1922年

創業当初の自動車用電球  
スタンレー  
ものづくりの原点



製品

1981年

ガスレートジャイロセンサ  
Gas Rate Gyro Sensor

ニッカ(1981年)

ガスレートジャイロセンサ  
世界初の自動車用地図型  
ナビゲーションシステムに採用



## 1950~1960年代 自動車用ランプへの挑戦

1952年 1月

シールドビーム・自動車照明器具の製造に着手

1961年 10月

東京証券取引所市場第二部に株式を上場

1962年 2月

東京証券取引所市場第一部指定

1965年 4月

シリコン素子の製造開始

1969年 12月

神奈川県横浜市に技術研究所開設

1957年

完全密封式メタルパック・シールドビーム  
自動車産業におけるスタンレー  
ブランドを確立した製品



1985年

日経・年間優秀製品賞を受賞した、  
世界最高の出力を誇る赤外LED



## 1970~1980年代 拡大と多角化へ

1976年 7月

高輝度発光ダイオードの製造開始

1979年 10月

Stanley Electric U.S. Co., Inc.を設立し、北米事業に進出（現・連結子会社）

1980年 5月

タイにおける自動車用照明機器の生産拠点としてThai Stanley Electric Public Co., Ltd.を設立（現・持分法適用関連会社）

1984年 10月

欧州戦略拠点としてフランスにSTANLEY-IDESS S.A.（現・STANLEY-IDESS S.A.S.）を設立（現・連結子会社）

1989年

MR（マルチリフレクター）  
ヘッドランプ  
カーデザインの自由度を高めた、世界初レンズカットのないヘッドランプ



2009年

LEDヘッドランプ

電気自動車に採用、当社初のLEDヘッドランプ



2015年

ADBシステム  
当社初のADBヘッドランプシステム



## 1990~2000年代 真のグローバル企業へ

1995年 7月

自動車機器事業・電子機器事業を併せ持つ中国コア拠点として天津斯坦雷電気有限公司を設立（現・連結子会社）

2001年 8月

欧州の生産拠点としてハンガリーにStanley Electric Hungary Kft.を設立（現・連結子会社）

2001年 9月

インドネシアの生産拠点としてPT. Indonesia Stanley Electricを設立（現・連結子会社）

2009年10月

ブラジルの生産拠点としてStanley Electric do Brasil Ltda.を設立（現・連結子会社）

「ナイアガラの滝」イルミネーション  
最長600m離れた場所から、  
フルカラーライトアップ

2016年



2021年

A&NUV ブランドの立ち上げ



## 2010~2021年現在 持続的成長に向けた可能性の追求

2019年 4月

神奈川県横浜市にみなとみらいテクニカルセンターを開設

2020年 3月

アメリカの開発・生産拠点としてHexaTech, Inc.を取得（現・連結子会社）

2020年 7月

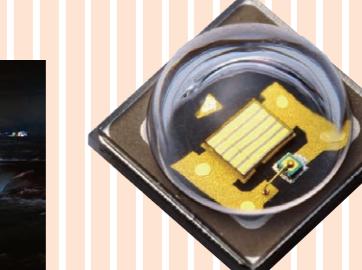
神奈川県秦野市に世界最長クラスの屋内試験場となるライトトンネルを開設

2021年 1月

三菱電機株式会社と車載用ランプシステム事業に関する業務提携

2020年

深紫外LED  
波長265nm、新型コロナウイルス不活性化にも有効



(百万円)  
400,000

300,000

200,000

100,000

0

# スタンレーの強み



## POWER OF CREATION

スタンレーグループは、グローバルな競争に勝ち抜くために、生産性・効率性を重視した経営を行っています。すなわち、市場や市況が急激に変化するような、いかなる環境においても振り回されない、真に体質の強い企業集団を目指して、最適な「ものづくり」を追求する生産革新活動を間接部門を含むすべてのビジネスプロセスにまで展開することで、より広範囲で高度な生産性の向上に努めています。



### 人づくり

#### 創造性とチャレンジ精神の醸成

「向上心、向学心に満ちあふれる人を大切にする風土の確立」を人事方針とし、能力主義に基づいた公平性、納得性、妥当性のある独自の人事制度を運用しています。この制度のもと、社員一人ひとりの能力や適性にあわせた育成計画を作成し、効率的・効果的なスキルの向上とキャリア形成を図っています。

	2018年度	2019年度	2020年度
階層／職位別教育の受講者数	382名	519名	520名

(単体)



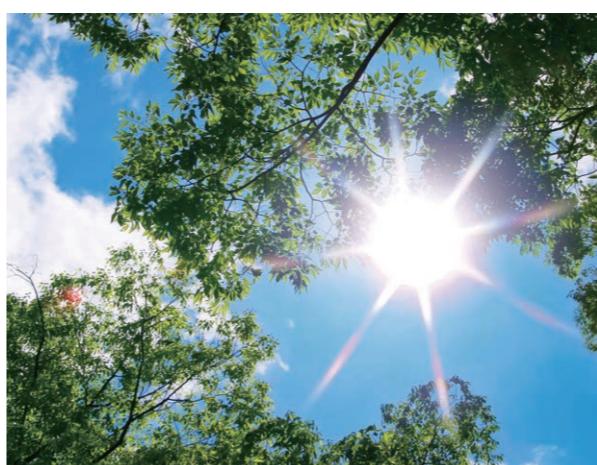
### ものづくり

#### 独自の革新的生産手法

「お客様が求める製品を必要なときに必要な数だけ生産する体制」を理想とし、全社を挙げて独自の生産革新活動【SNAP】を実践しています。徹底してムダを省くことでリードタイム短縮、コスト低減、品質向上、納期順守を実現し、お客様の信頼と満足を高めています。また、設備の内製化や新材料の研究など、生産技術の向上もあわせて推進しています。

	2018年度	2019年度	2020年度
生産革新活動による合理化効果	119.4億円	131.2億円	82.5億円

(連結)



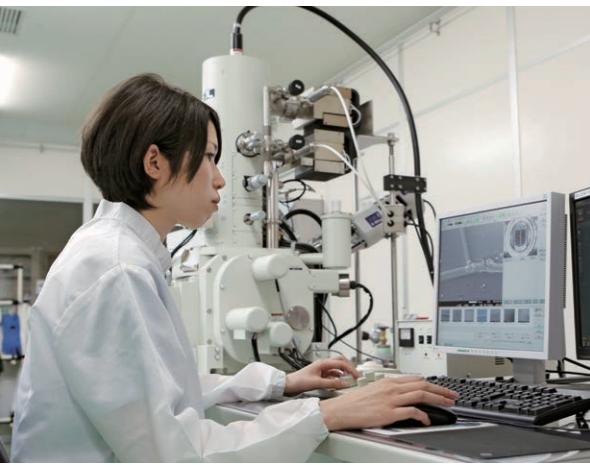
### 環境

#### 豊かな価値の創造と環境との調和

かけがえのない地球とその生態系の豊かな恵みを、健全な状態で次世代に引き継ぐために、積極的に環境保全活動を行っています。グループ全体の事業活動、社会に提供する製品・サービスにおいて、汚染予防や気候変動の緩和、持続可能な資源の利用など、ライフサイクル全体で環境目標を設定し、その実現に取り組んでいます。

	2018年度	2019年度	2020年度
CO <sub>2</sub> 排出量	470,419t-CO <sub>2</sub>	450,033t-CO <sub>2</sub>	409,586t-CO <sub>2</sub>

(環境における集計範囲)



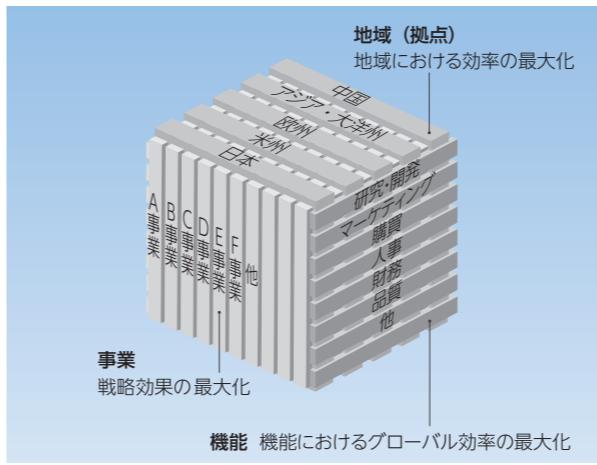
### 研究開発

#### 新しい光の価値の創出

「光の価値の限りなき追求」と「ものづくりを究める経営革新」により、真に必要とされる価値を創造して広く社会へ貢献するため、研究開発センター・設計技術センター・生産技術センターの3部門を中心とした体制で研究開発に取り組んでいます。デバイス開発技術や自動車照明分野で蓄積したノウハウを相互に活用し、世界最高レベルの光技術を目指しています。

	2018年度	2019年度	2020年度
売上高研究開発費率	4.2%	4.8%	4.4%
特許保有件数	3,347件	3,783件	3,881件

(連結)



### 3次元グループマトリクス経営

#### 戦略効果と効率の最大化

会社目標を達成するためのグループ体制として「3次元グループマトリクス経営」を採用しています。事業／機能／地域（拠点）の3つが互いに働きあい、戦略効果の最大化、地域における効率の最大化、機能におけるグローバル効率の最大化を図りながら、スタンレーグループ全体としての効果を最大限にするためのマネジメントを行っています。

	2018年度	2019年度	2020年度
売上高経常利益率	14.1%	7.7%	11.5%
売上高当期純利益率	9.3%	4.7%	6.4%

(連結)

## 価値創造プロセス

スタンレーグループは、創業以来長年にわたって蓄積してきた技術とノウハウの数々を、互いに連携・共有化し総合力として発揮することで、変化の激しいマーケットに対応する製品の提供をしています。光の価値とものづくりのしくみの価値との相乗効果により、競争力のある大きな価値を生み出すことで安全・安心を実現し、社会に貢献していきます。



# 価値創造への取り組み

## 1 夜間の交通死亡事故ゼロへの貢献

**課題解決に向けた  
スタンレーグループ  
の技術**

**「安全な光でドライバーの視認性を確保する」**  
光を制御して、最適な配光のバランスを実現  
夜間でも高い視認性を確保することで、安全性の向上を図る

統計データによると、交通死亡事故は夜間に多く発生しています。それは昼間よりも視界が悪く、歩行者や路上の障害物の発見が遅れることが大きな要因です。ドライバーが夜間でも安心して安全に運転するためには、ランプの照射と遮光のバランスが重要になります。当社では「夜間の交通死亡事故ゼロ」を目指して、安心して運転できる視界の確保と他の道路使用者に眩しさを与えない光の追求に取り組んでいます。

## 2 人々の安全・安心を実現する光の価値の提供

**課題解決に向けた  
スタンレーグループ  
の技術**

**「細菌やウイルスから人々を守る」**  
深紫外線光源とその応用製品を用いて、対象物への除菌を実現することで、感染・汚染など衛生上のリスクを低減する

私たちスタンレー電気は、誰もが安心して暮らせる毎日の実現を目指し、紫外線技術を活用した除菌製品ブランド「A&NUV (アルヌーヴ)」を立ち上げました。長く自動車ヘッドライト等で培った独自の光学技術と、LEDパッケージ設計・製造技術を活用し、細菌やウイルスの除菌効果が高い深紫外LEDを開発。その他光源を含めデバイスからモジュールや完成品まで、「A&NUV」を通して、お客様のニーズに合った除菌ソリューションを提案していきます。

### 価値を生み出すための開発環境の構築 ～秦野テクニカルセンター＆ライトトンネル～

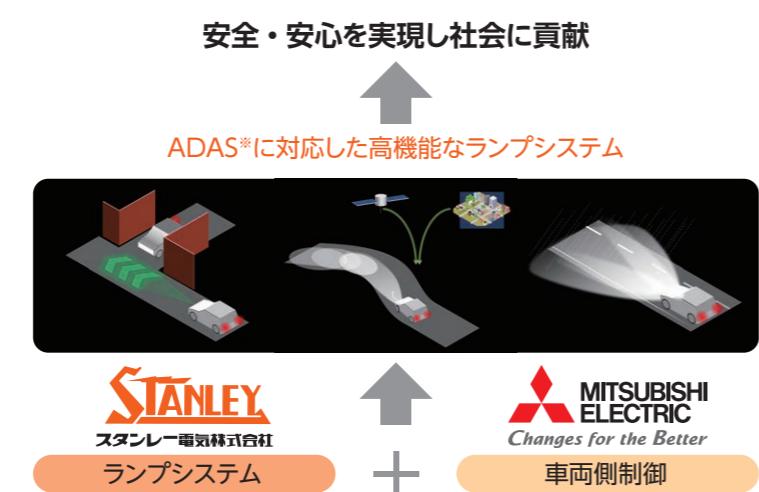
機能安全開発を効率的に推進するため、2020年に「秦野テクニカルセンター」を開設しました。実車での使われ方を考慮したランプシステムの実機検証を行うことで、「夜間の交通死亡事故ゼロ」の実現に向けた製品の、さらなる価値向上を目指します。



### 車載用ランプシステム事業に関する業務提携

2021年、当社は三菱電機株式会社と、車載用ランプシステム事業の共同取り組み（開発・設計・製造・販売）に関する業務提携契約を締結しました。この業務提携により、当社の強みである『光学設計技術』や『車載用ランプ製造技術』等と、三菱電機株式会社の強みである『先進制御システム技術』を融合させて、従来よりもさらに高い安全性と機能性を有する車載用ランプシステムの実現を目指しています。

そして、車載用ランプシステム事業を拡大させるとともに交通死亡事故ゼロを目指し安全・安心な社会の実現に貢献してまいります。



\*ADAS:Advanced Driver Assistance Systems (先進運転支援システム)

### A&NUVの由来

スタンレー電気の除菌製品ブランド「A&NUV」は、紫外線光源の高出力化と発光効率向上の肝となるLED基板「A&N (窒化アルミ)」と「UV (紫外線)」から生まれたブランド名です。世界的にも稀有な窒化アルミ基板の採用により、スタンレー電気の深紫外LEDは、紫外線がより効率よく機能するよう設計されています。「A&NUV」はLEDをはじめとする優れた深紫外線光源を搭載した幅広い除菌製品ラインアップを取り揃えます。

**ブランド名称▶ A&NUV(アルヌーヴ)**



**コンセプト▶ A&NUV = A&N (Aluminium nitride) + UV (Ultraviolet) (窒化アルミ + 紫外線)**

- 紫外線光源を利用した製品・ソリューションのブランドで、当社製深紫外LEDパッケージの特徴であるA&Nと、UVを組み合わせたものです。
- ブランドロゴは、光(紫外線)の広がりや、人々の生活シーンで触れる水、空気、表面が「きれいになっていく」様子をイメージしています。

### デバイスからモジュール製品、完成品まで幅広く展開

現在、医療現場、移動時の車内、水除菌等のシーンで利用が期待される製品を展開中です。今後も製品ラインアップを拡大して、誰もが安心して暮らせる毎日の実現を目指します。



### [STANLEY Online Store] オープン

1月28日、STANLEY Online Storeをオープンしました。発売中の紫外線除菌庫は、病院を中心にご購入いただいています。使い方の動画や、何を除菌できるかの説明も掲載しています。その他の製品も順次発売予定です。通販サイトの開設は当社として新しい試みとなりますので、ぜひご覧ください。



アクセスは  
こちら!

